



ロータリー：
変化をもたらす

宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 橋木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2018) 平成30年5月8日 No 38 2017～2018年度 (第3242回会報)

会員数 100名 出席者数 71名 出席率 76.3%

ビジター紹介 (親睦活動委員会 矢治和之委員長)

栃木県知事福田富一様 (ゲストスピーカー) 大根田守様 (栃木県職員)

重田康博様 (宇都宮大学教授)

ラズクマリ タマン (RAJ KUMARI TAMANG) 様 (米山交換学生)

会長挨拶 (印出井敏英会長)

今日の卓話は、お忙しい中お時間をさいて頂き知事さんに来て頂きました。この間テレビを見ていましたら、栃木という字が中々書けないとのこと。日光や餃子が全国に知れ渡り、観光客が少しずつ増えてきています。行政と我々民間が協力し、またJRさんもデスティネーションキャンペーンを展開して頂いておりますので、多くの方に来県して頂けたらと思います。本日は知事さんから色々な計画を伺えると思いますので、楽しみにしております。どうぞ、宜しくお願い致します。ロータリーでは色々なデータの個人情報保護により、5月25日から今まで以上に厳しくなるという連絡が来ております。ロータリー平和フェロシップ候補者の推薦が来ております。又ガバナー事務所より、今年カナダのトロントで開催されます国際大会(6月23日から27日)への参加申し込みの連絡が来ております。第3グループA・B会長幹事会が6月12日開催されます。新年度7月より、岩舟ロータリークラブが第9グループから第6グループへ移動になります。当クラブがスポンサーで現在フランスへ行っております一年交換学生が、6月18日帰国されます。以上です。

幹事報告 (飯村悟幹事)

第11回理事会が本日開催されました。5月1日現在会員数は、101名です。入会申請者は6名、退会者1名です。協議事項としまして、東京ロータリークラブ例会参加事業が5月23日に予定されております。現在のところ、17名の参加予定です。タイよりチャイワイご夫妻が見えるアテンドについての話し合いがありました。5月のロータリーレートは、108円です。社会奉仕委員会より足尾植樹事業の報告、青少年奉仕委員会より高校生RYLAセミナーの報告がありました。又親睦活動委員会より、5月20日開催の親睦ゴルフ・懇親会予定の報告がありました。当クラブの会費としまして前期13万円、後期13万円合わせて26万円をお預かりしております。内2万円を、ロータリー財団と米山記念奨学会へそれぞれ1万円ずつ寄付をさせて頂いております。クラブの事業報告でタイへの消防自動車寄贈事業、サンマ焼き、台湾研修旅行等、ニコニコボックスへご寄付を頂きお預かりしております。その特別会計より、事業の支払いをしております。今年度270万円の予算を見込んでおりますが、今のところ200万円の支払いが大変です。誕生祝・結婚祝・快出席祝・奥様誕生祝以外の良い事が有りましたら、ニコニコボックスへ

のご協力をお願い致します。以上です。

草野英二会員報告

米山奨学生カウンセラーの草野です。米山奨学生のクマリさんです。現在宇都宮大学大学院で国際交流を研修されています。重田康博教授が指導されています。クマリさんのお国は、ネパールです。ネパールはエベレストの登山口です。エベレストを目指す登山者は、必ずそこを経由します。実際ネパールの国旗は、2つの三角旗を組み合わせたものです。日本との交流も沢山あり、経済支援はイギリスに次ぎ日本が多く行っています。実質的なカウンセラーは、熊本会員に良くやって頂きました。これから一生懸命やっけてゆきたいと思ひます。ご支援の程、宜しくお願ひ致します。

米山記念奨学会 奨学生 クマリ様 報告



皆様、こんにちは。ネパール出身のクマリと申します。現在宇都宮大学国際学部国際学研究科、大学院2年生です。日本に留学したことで、ここまで皆様と一緒に勉強出来て嬉しいと思っています。ネパールのことを少し紹介させて頂きたいと思ひます。ネパールは、南アジアの発展途上国として知られています。ネパールは中国とインドの間にあります。2011年のデータによりますと、ネパールの人口は2,900万人です。広さは、北海道の1.7倍ぐらいです。ネパールの首都は、カトマンズです。植樹率は、65以上となっています。それも、日本をはじめ、他の国々のおかげと思っています。現在の貧困率は25%です。国民の76%以上は農業をしています。私みたいな留学生は色々な国で勉強をして自分の国に戻った時、自分が勉強してきた事で国の為になにか出来るかなと思っています。特に私は子供の貧困に興味があります。ネパールのストリートチルドレン・道路で生活をしている子供達の為に、どうしたら助けられるかという事を重田先生の元で勉強をしています。今年の8月にカトマンズに戻って現地調査を行い、研究計画を書く予定になっております。どうぞ、宜しくお願ひ致します。

重田康博宇都宮大学教授



私は、宇都宮大学大学院国際学研究科というところで主に国際協力・国際市民社会等を専門としております。私のところには研究生を含め十数名の学生がおりますが、殆どが留学生です。中国・ネパール・バングラディッシュです。留学生の皆さんは一生懸命勉強をして自分の母国・自分の生活・道をきりひらく為に頑張って勉強をされています。クマリもその一人です。今回温かいご支援を沢山頂きまして有り難うございます。今後1年間、クマリの事を宜しくご支援ご指導を頂ければと思ひます。

プログラム紹介 (プログラム委員会 松本春枝委員長)

本日は福田富一栃木県知事にお越し頂いております。演題「選ばれるとちぎ」を目指して、という事でお話を頂きます。宜しくお願ひ致します。

卓話「選ばれるとちぎ」を目指して

栃木県知事 福田富一様

皆様、こんにちは。印出井会長の元で3242回例会の卓話にお招き頂き有り難うございます。ネパールからクマリさんがお出でになっております。是非、大いに学んで将来の友達を沢山作り、ネパールと日本又栃木県との架け橋になって欲しいと思ひます。ネパールに珍しい魚がおり、そのガイドをした日本人がイギリスにも行かれたようです。が、自分にはネパールが一番良いとネパールに戻り釣りのガイドを

している人のドラマが流れていました。風光明媚で、綺麗な国だなと思いました。皆さんが行かれる時は、私も誘って下さい。



さて、デスティネーションキャンペーンというのは JR6 社と地域が協働で取り組む国内最大の観光キャンペーンです。北海道から九州迄、JR の駅は 6 月いっぱい栃木県の観光地のポスターが 5 枚並んで、どの駅にも貼ってあります。JR 全体といたしましてもお客様を栃木にという事で、案内をしてくれているところです。ゴールデンウィーク期間中、あしかがフラワーパークは 1 日 7 万人を超えたという報道がありました。今まで多

くの人は駐車場迄たどり着けず、断念をして佐野のアウトレットそして佐野ラーメンを食べて帰る、この様な人が多かったのですが、先月、新駅が開業致しました。これは JR 高崎支社がリードして「足利に新駅を開設しませんか？」と声を掛けてくれました。通常ではあり得ない話です。今回は JR も負担をし「一緒に作りましょう」ということになりました。県では、1 億円の助成をしたところです。JR の新駅は、山手線並みですよ！と誰かに言われました。「電車が止まるたびに、ドドドと乗客が降りてくる」と。ところが、日中ですと 1 時間に 1 本ないし 1.5 本、上りだと 2 本・3 本という状況です。電車が出た後、駅に着いた人は、その後の 40 分をどう過ごすのか？という声があります。皆さんのお休み場所をこれから用意し、そこで電車待ちをしても退屈をしないようにする事が必要かと思えます。園内はバリアフリーでするので問題なく、車いすも用意してあります。園内で使用した車いすを駅迄使用し、車いすを駅でも戻す事が出来る使用方法は、如何ですか？と足利市長に申し上げました。地域と相談してみますと言っていました。これからは、この様な仕組みも必要となってくるのではないかと思います。新駅が 4 月 1 日開業しましたので、4 月から 6 月迄のデスティネーションキャンペーンには間に合ったと思えます。大勢の方が車から電車に乗り換えてフラワーパークを楽しまれているという事が、非常に良かったと思っています。一方大田原市雲巖寺・日光の英国大使館別荘記念公園は、いずれも吉永小百合さんがコマーシャルに登場しています。雲巖寺の太鼓橋のところで CM を撮りました。テレビコマーシャルが始まり、大田原市観光協会はその日のうちから電話が鳴り、ホームページへのアクセス件数が一気に増えた状況になりました。「何処にあるのだ！」「どの様に行くのだ！」という問い合わせが、沢山有りました。1 日 1,500 件位しかなかったホームページへのアクセス件数が、1 日 20,000 件、そして 8,000 件で下げ止まり状態だそうです。雲巖寺前の通りが開通以来の渋滞だそうです。未だかつて、その様な事は有りませんでした。東京で生活している黒羽出身の方が状況を知り「自分の故郷が賑わっているのは嬉しい限りだ」と、下野新聞の読者投稿欄に投稿していました。「おくのほそ道」は、5 月から 9 月迄 150 日間松尾芭蕉が歩いて東北（岩手・秋田・山形）日本海側を廻って大垣までの旅の道中記です。その中で一番長く滞在したのが雲巖寺で、13 泊 14 日でした。松尾芭蕉が大変気に入った場所と思います。黒羽藩の藩主が江戸で句を教えた弟子、という事で長く滞在したのではないかとされています。歴史のある雲巖寺がコマーシャルで一躍脚光を浴び、大勢の方に来て頂き栃木に「こんなに素晴らしい所がある」と、分かって頂けただけでも良かったと思えます。一方英国大使館別荘記念公園は、例年の倍以上のお客様がお見えになっております。紅茶とスコーンの軽食が出来ようになっております。隣のイタリア大使館は、コーヒーとクッキーです。お茶を飲み始めますと、30 分から 40 分は館内におります。スリッパを 70 足しか準備しておりませんので、お客様が並んだ場合お茶のサービスは止めた方が良いのではと考えましたが、そこまで至らなかったようです。「お茶を召し上がって頂く場合は、40 分位で……」と、事前にお伝えする取組みを致しました。東照宮については、陽明門の平成の大改修が終わり、今年はお客様数が例年よりは多かったのですが、昨年よりは少なかった様です。いずれもコマーシャル効果であり、吉永小百合さんは「栃木って、意外と良い所があるのね！」と、おっしゃったそうです。デスティネーションキャンペーンは 3 ヶ月単位で、年 4 コマしか有りません。1 月～3 月は、京都で決まっていた。残りの 3 枠を 46 都

道府県で、何とか自分の所だと競います。いくら JR 東日本が頑張っても 6 社の社長の合意が必要です。今年は 19 年ぶり「やすらぎの栃木路」以来、やっと決めて頂きました。特に今回は「おもてなし」という事で、「お客様を大事にする」という今まで足りなかった部分、「お客様は、黙っていても来るもん！」と黙っていた、又その様な時代もありました。中禅寺湖の上の方に行くと、「今市のカツ丼より 2 倍も高い」又それが当たり前の時代でした。バブルが弾け、そのしっぺ返しが来た状況になります。2020 年東京オリンピックに向け、続々と改修工事が始まっており、日光でもリッツカールトン・中禅寺金谷ホテル・プリンス会員制ホテル等、これから工事が進められる段階です。奥日光の環境も少しずつ良くなってゆくのではないかと思います。121 号、鬼怒川から会津に至る道路がありますが、250 ミリ以上の雨が降りますと通行止めになったり、又落石があったりします。そのため、川治の温泉街をトンネルで迂回して雨に関係なく通行出来るよう、国の事業が始まりました。その工事が終わりましたら、冬閉鎖される金精道路、白根山の所にトンネルを掘り、通年通行が出来るようになると良いと、群馬県知事も言ってくれましたので、万が一災害が発生しても福島・山形との交通確保、群馬との通年交通確保、この両方が出来ると思います。奥座敷の鬼怒川温泉から川治そして日光は、いざとなっても大丈夫という事になる予定です。宇都宮市長が言っております。「駅を降りて、宇都宮の美味しい餃子は何処ですか？」と聞かれ、「そんなもの、何処にもない」と答える人がいる、と。また、民放で郷土料理の取材に来て「しもつかれをお宅では作りますか？」と質問され、「あんな不味いもの作らないよ！」と答えた番組が、全国に流れました。都会の喧騒から離れ静かな所に行つてゆっくり休む人達が来ていますが、「なにしに行くのだ。あんな所誰も居ないよ。つまらないよ！」と、言うのが栃木県です。その様な時は、「良いところに来たね！ 一日ゆっくりしてね！」と、「帰りには、道の駅があるから地場の物を沢山買ってね。イチゴやリンゴを！」と言えば、と思います。おもてなしイチゴ隊は 1 人 1 人に意識を持って頂き、このバッチを付けて頂きます。お出迎え・挨拶・手助け・道案内をして頂ける方を登録制度にしました。1 人に一個、お届け出来ます。現在 41,000 人以上の登録があります。まだ受付をしておりますので、宜しくお願い致します。

オリンピックについてです。覚え書きを締結し、キャンプの誘致を進めています。陸上競技は内定致しました。これから年末にかけて、空手・近代五種・カヌー・ゴルフ・水泳・水球等交渉中です。10 種目 100 人以上の選手を栃木で迎えたいと思っています。「水球と言えば、ハンガリー」です。競泳も日本よりメダル数が多いです。フェンシングは世界でもトップクラスです。地域との交流もオリンピックを機に深めて行ければと思っています。聖火リレーにつきましても、まもなく国からガイドラインが出ます。栃木県では、二日間、聖火リレーが開催されることに決定しました。ガイドラインが出ましたら、実行委員会を立ち上げ関係者の皆さんと県内のルートを決めたいと思っています。1964 年の東京オリンピックの時、現在 72 歳の方が大通りを走り最終の県庁広場にゴールインをしたのですが、後ろで一緒に走った 1 人を思い出すと新聞に載っていました。先頭を走る人がトーチを頂きます。そのトーチをお借りして、県民の日に皆さんに見て頂こうと思っています。オリンピックに向けて、キャンプ誘致・聖火リレー等に向け努めて行きたいと思っております。新国立競技場には、大谷石・木材が使用されます。選手村の食材です。栃木県産の物を納めてゆきたいと思っております。しかし、大会組織委員会が非常に厳しい規制をかけています。オリンピックのマークも使用できません。商業事情では材料を納めていると勝手に言うてはいけません。いっさい駄目です。食材は肉でも野菜でも米でも「栃木県産を使用している」と言うことを一切言うてはいけません。唯一宣伝をして良いことは選手村の交流プラザ、これは木材で作る事になっています。組織委員会が全国から公募し提案した栃木県産の木材が採用されました。交流プラザは、栃木県のほか、多くの自治体木材を提供します。コマーシャルは出来ます。それ以外は一切駄目です。組織委員会の厳しい対応を改めて実感しております。4 年後には国体「いちご一会とちぎ国体」が開催予定、スタジアムも大方出来ております。武道館もほぼ形が出来、体育館・温水プール・飛び込み台も今月着工になります。東京オリンピックではプール・体育館以外はキャンプに使用して頂き、3 年後にはプレ国体を

開催し4年後の国体に望む事になります。それらのイベントにしっかり対応し、今回のDCもレガシーとしてしっかり残し、以降もお客様に栃木に絶え間なく来て頂ける様な環境にしなければと思っております。お客様に来て頂く・良いところだから・人間性が優しい県民だから、では別荘を建てようか・宇都宮にマンションを購入して時々来ようか・住民票を移して住もうか、というところまで繋げられれば栃木の元気は更に高まるのではと思っています。ロータリアンの方のお力添えを頂きまして、終わりとさせて頂きます。有り難うございました。

＝今日の食事＝



ローストビーフ（サラダ仕立て）
ライス スープ サラダ

＝卓話予定＝

【5月】

5月 8日 福田富一 栃木県知事

「選ばれるとちぎ」を目指して

5月 15日 夢見亭 一生楽（小崎 治 様） 冗談法人「真岡落語研究会」代表

落語 「寝床」

5月 22日 さとう もと子様

高麗神社スタッフ・那須与一伝承館スタッフ

5月 29日 会員卓話 秋本薫会員

（株）アキモ 代表取締役社長

「（株）アキモの地域貢献活動」

【6月】

6月 5日 仲村久代様

認定特定非営利活動法人サバイバルネット・ライフ

～子供の貧困とDV～

6月 12日 1年を振り返って

6月 19日 1年を振り返って

6月 26日 1年を振り返って

印出井敏英会長 飯村悟幹事

会報担当：小林 健二 会員

画像担当：菅谷 隆臣 会員